


優良(建設)工事説明書

工事番号	教受第23号	工事名	市民文化会館大ホール天井耐震改修(建築)工事
施工場所	中央町4丁目	請負金額	84,024,000円
工期	自 平成27年 9月 1日 至 平成28年 3月10日		
施工業者	新発田建設(株)	代表者	渡辺明紀
現場代理人	野沢一栄	主任(監理)技術者	野沢一栄
【工事概要】 構造及び規模:RC造 地上5階、地下1階建て、 延べ面積 5,648.70㎡・改修面積 大ホール天井 A=786.78㎡・仮設工事 内部棚足場 906㎡ 鉄骨工事 C型形鋼125×50 他・金属工事 天井軽量鉄骨下地 798.7㎡・塗装工事 天井石膏ボードリシン吹付け・内装工事 石膏ボード 貼り・解体工事 既存天井解体処分	一次下請内容	工種	仮設工
		"	仮設給排水工
		"	クリーニング工
		"	解体工
		"	鉄骨工
		"	塗装工
		業者数	10社
下請率	—		
成績評定点		88点	
表彰対象と評価できる 内容(選定理由)	【主任監督員】 昨年度の客席椅子と床絨毯の改修部分に続いての工事であったが、その部分を破損させることなく、またその客席の上部6メートル以上も高い天井部分の耐震改修工事ということで、内部棚足場を設置しての工事は、事例の少ない工事であったが、事前に椅子や絨毯を傷めないような施工方法を計画し、椅子をかわしながらの内部足場組など、綿密な計画をたてて行っていた。また、品質管理も徹底され、天井材の耐震化も含め、仕上がりに関しても、細部まで丁寧に施工されていた。これらの事に対し高く評価したい。		
	【検査員】 特定天井(告示711)の対策工事で、仕様書の基準も具体例が少ないため、施工計画立案に当たりメーカー協力のほか、必要に応じ試験を行うなど、根拠を固めながら行われており、工法選択が的確に行われ性能の信頼性も向上している。段階確認も通常工事より期間を細分化した上に、社内の第3者による確認が行われており、不可視部分や工程進捗に、より修正できない部分ができないよう確認しながら施工が進められ、細やかな品質管理とともに工程管理にも効果がみられた。		
【説明を補足する写真、図面、略図】			
			
<p>内部棚足場設置作業に伴い、既存じゅうたんに足場建地が約300本ほど配置され、足場建地1本当たり595Kgの荷重がかかる為、着手前の状態に復旧できるか、6種類の試験サンプルにて実際に荷重をかけ、検証作業を行いました。</p>			
<p>吊金具を耐震軽量鉄骨吊ボルト耐荷重の設計引張強度以上の吊元金具としての強度を保有しているか、引張試験を実施しました。また、設計案よりも強度的に勝る吊金具を提案し、確認実施した。</p>			
<p>鉄骨工事の吊金具ボルト締め付けにおいて、締め忘れ防止の為、確認も兼ねて全数マーキングを実施して、品質管理に努めた。また、ボルト緩み防止に対して、エポキシ系接着剤をボルトと吊金具に塗布することで、より耐久性を高めた。</p>		<p>天井リシン吹付完了後の作業で、ヘルメットが天井及び壁にぶつかると傷になり、骨材がとれ補修不可になる為、ヘルメットカバー着用をルーラ化して、仕上げ面の保護を行いました。</p>	
			
<p>鉄骨吊金具の引張試験を行うに伴い、地元新発田市にある職業能力開発短期大学に出向き、住居環境課の先生立会いのもと、試験を行い、地域貢献に努めました。</p>			
<p>地域への環境美化のお手伝いとして、上記のように除雪及び清掃をして、環境美化活動を行いました。</p>			
<p>①大雪の作業場内除雪に伴い、正面入口や職員入口廻りを自主的に行い、文化会館の運営に支障がないよう配慮しました。 ②一斉清掃の中で、定期的に環境美化の一環として道路清掃を行い、環境に配慮しました。 ③工事仮設ヤード内に面する公園において、枯葉による落葉が集積する為、一斉清掃の一環として、場内公園廻りの落葉清掃を実施して、環境美化活動を行いました。</p>			

優良(建設)工事説明書

工事番号	受託第7号	工事名	県立病院跡地公園整備付帯施設工事
施工場所	大手町4丁目	請負金額	58,071,600 円
工期	自 平成27年 9月18日 至 平成28年 3月10日		
施工業者	(株)伊藤組	代表者	伊藤隆雄
現場代理人	星野 栄	主任(監理)技術者	星野 栄
【工事概要】 I. トイレ RC造平屋建て 延べ面積:20.38㎡ II. シェルター S造平屋建て 延べ面積:81.00㎡ III. 東屋 木造:25.92㎡ IV. バス停 木造:8.64㎡ V. 井戸小屋 S造:4.86㎡	一次下請内容	工種	仮設工
		"	土工
		"	地業工
		"	鉄筋工
		"	コンクリート工
		"	工場製作工
		業者数	9社
成績評定点	83点		

表彰対象と評価できる内容(選定理由)

【主任監督員】

同一敷地内で複数の工事が同時施工を行う複雑な現場状況の中、敷地内に点在する建屋5棟を新築する工事であったが、関連工事の中においてリーダーシップを発揮し、日々作業調整を行い、作業の優先順位を特定し施工するなど、積極的な工程管理を行いました。
また、冬期間の悪天候を想定し、創意工夫、提案を持って工事に取り組み、無事工期限内に工事を竣工した。

【検査員】

本工事では、降雪により一時的に作業に遅れが生じたものの、関連工事との調整や、高所組立作業を陸組で行うなど、優れた技術的提案により、工期限内に事故や近隣の苦情等なく、完成することが出来た点を高く評価したい。また、現場として創意工夫をいくつも提案し、職場環境の改善や、本工事の出来形向上に影響する項目を多数実施しており、全体的な出来ばえは良好であった。

【説明を補足する写真、図面、略図】



工事看板の設置場所が限られていたため、関連工事業者との調整・取り纏めを行い、見やすい場所に全工事を集約した工事看板を設置し



バス停の設置工事に伴い、工事場所と歩道との仕切材として、柔らかく丈夫で透視性が有り、視認性の高いメッシュの使用を提案し、歩行者・バス利用者の安全確保に努めた結果、事故やクレームもなく工事を完了した。

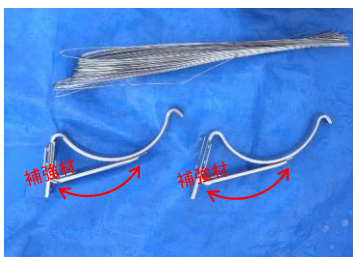


冬期間の工事であり、降雪による影響が懸念されたため、基礎先行工法を提案し、工期の短縮に努めた結果、降雪前に基礎工事を完了した。

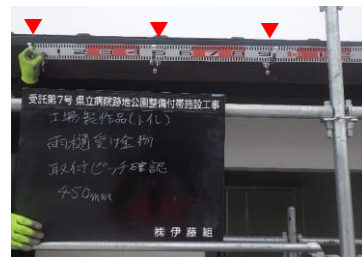
冬期間、高所作業による墜落転落リスク低減策として、小規模建屋小屋組の陸組を行い降雪・強風の影響を受けることなく、作業を完了した。



陸組作業状



トイレ(RC造)・シェルター(S造)・東屋(木増)・バス停(木造)の軒樋の樋受金物にはステンレス製の耐雪型(補強材付)を使用した。又、樋受金物の設置間隔を450mmとして、雪害対策を行った。



木造建屋の斜材(方杖・火打梁)貫通ボルト穴ふさぎを新発田市の市章をイメージしたひし形の銅板加工品を使用し、意匠性を向